

アニメーションの世界で50年

活躍し続ける塩竈人・丸山正雄さん

国内の数々の映画賞を受賞し、第40回日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞にも選ばれた「この世界の片隅に」監督・片渕須直」。戦時下の広島、呉でひたむきに生きる人々の日常を描いた同名マンガが原作のアニメ映画です。この作品の企画を担当されたのが、本市出身の丸山正雄さんです。

6月24日(土)、25日(日)丸山さんをお招きし、映画上映会やトークイベントを開催します。イベント開催を前に、丸山さんにお話を伺いました。

アニメーションの世界に進んだきっかけはなんですか？

手塚治虫先生の知り合いから、新しい会社で人を探していると紹介され、虫プロ(※)が何をしているところかも知らないまま、結果的にはアニメの世界に飛び込んでしまいました。

そのころは、まだ今でいう「アニメ」という言葉すら一般的ではなく、当然「虫プロ」が何をやっているところかも知りませんでした。以来はや五十年、運命ですね。**本作品では、企画を担当されています。どんなお仕事ですか？**

私の場合は、監督やメインスタッフの決定からキャスティング、作品の内容に関わるすべての決定をしています。

片渕監督と前作「マイマイ新子と千年の魔法」を製作して、作品的に満足感が高かったのですが、興行的には成功とは言えず、リベンジのつもりで挑戦しました。幸運にも片渕監督の真摯な考えが反映できる、何かユーモラスな世界という思いにぴったりの原作と出会えたので、その映像化に踏み切りました。



この世界の片隅に

©この時代の双葉社/「この世界の片隅に」制作委員会

観客動員数が190万人を突破しました。映画の魅力はどこにあるのでしょうか？

原作のこの時代の史代さん、音楽のコトリンゴさん、ずずさんを演じてくれたのんちゃん、この映画を作っていくうえで、非常に大事な人と出会えたこと、それを纏めた片渕監督のパワーだと思います。

この映画は、アニメを見なかった多くの人にもアピールできました。戦争を生き抜いた人、戦争を知らない人、災難を乗り越えて来た人を励ますことになればと思います。(取材はメールで行いました)

(※)虫プロ:「虫プロダクション(旧社)の略」
1962年に手塚治虫氏が設立したアニメーション専門のプロダクション



丸山正雄さん
1941年6月19日生まれ
塩竈市立第二中学校、塩釜高校出身
アニメ会社「スタジオM2」取締役社長
アニメーションプロデューサー
主な企画・プロデュース作品「はじめの一步」・「花田少年史」・「時をかける少女」など多数

シリーズ 日本遺産

「政宗が育んだ“伊達”な文化」と塩竈

日本には世界に誇る「たから」が多くあります。文化人伊達政宗に着目したストーリー「政宗が育んだ“伊達”な文化」は、平成28年4月に文化庁から「日本遺産」として認定されました。市内の日本遺産構成文化財や塩竈と仙台藩との関わりを来年4月までのシリーズで紹介し、港町塩竈の市民が生き抜いてきた歴史を訪ねていきます。



鹽竈神社は日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」のストーリーを構成する文化財のひとつです

奥州一ノ宮・鹽竈神社を再興した『奥州王政宗』

奥州王の意識を持ち後年陸奥守となる伊達政宗は、古代の政治的・文化的中心地域の復興を目的として、奥州一宮である鹽竈神社をはじめとする寺社を建築し、再び盛んにしました。また、領国の末永い繁栄を願い地名を千代から仙台に改め、仙台城と城下町を築き、港湾整備が進められた港町塩竈は大いに栄えました。江戸時代に描かれた絵画では、子どもから大人まで数多くの人々がおやま(一森山)を訪れ、さらに鹽

竈神社を参拝する藩主の行列も描かれています(鹽竈神社博物館所蔵)。政宗生誕450年にあたる今年、平和と繁栄を願った政宗の思いを鹽竈神社で感じてみませんか。【参考文献:小林清治「伊達政宗の研究」】

日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」
ホームページ <http://datebunka.jp/>

生涯学習課学習支援係 ☎362-2556

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。 **防災行政無線確認電話 ☎364-1260**



エフエムベイエリア (FM78.1MHz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

「広報しおがま」は、22,700部製作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は69円です。

【塩竈市の人口】 H29.3.31現在

住民基本台帳調べ (前月比)	
人口	54,959人 (-156人)
男	26,264人 (-84人)
女	28,695人 (-72人)
世帯数	23,196戸 (+6戸)

